鳥取県地域少子化対策強化交付金事業について

1 切れ目のない支援を行うための仕組みの構築

① シニア世代の孫育て事業:3,000千円

出会いから結婚・出産・子育てまで、最新の知識や今の若者や保護者が求めている支援を学び、自分の孫育てにも役立てつつ、地域において出会い・結婚・妊娠・出産・子育てまでの支援に取り組む"孫育てマイスター(仮称)"を養成する。

② 少子化対策理解促進啓発フォーラム(仮称)開催事業:3.800千円

県民ひとり一人が少子化問題への危機感をもって出会いから子育てまで地域 全体で応援することの重要性などを啓発する。

- 〇結婚、妊娠・出産、子育てについて支援に関する講演や分科会
- 〇子育て支援団体・企業の活動PRブース 等

2 結婚に向けた情報提供等

結婚イメージアップ事業:4.100千円

成婚者の体験談を収集、ホームページ、フリーペーパー等を通して情報発信を 行い、若者の結婚に係る不安感の解消を図るとともに、結婚をより身近に魅力 的に感じてもらう。

3 妊娠・出産に関する情報提供

とっとり若者研究会(仮称)事業:5.700千円

大学、産婦人科医、助産師等が連携しながら思春期以降の性に関する相談・ 教育技術の向上や正しい知識の普及啓発を図るための組織を立ち上げ、妊娠、 出産に関する啓発教材の作成や思春期ピアカウンセラーのサポート、学校、地 域、職場における啓発活動を行う。

4 結婚・妊娠・出産・育児しやすい地域づくりに向けた環境整備

① 結婚・妊娠・出産・子育てしやすい地域づくり情報発信事業:3.100千円

鳥取県の「地域での少子化対策活動」をより活性化させるため、県内地方紙上で、「とっとり子育て隊」に登録された団体等の地域での支援活動の内容をPRすることで、とっとり子育て隊の拡大や子育て支援活動の更なる活性化につなげる。

※「とっとり子育て隊」

地域みんなで子育てを支えあうことを推進するため、それぞれの立場でできる 範囲から、自主的に子育て支援活動を実践する個人・団体・企業の登録制度。 「子育て王国とっとり」の建国と併せて、平成22年9月に創設。

② 産前・産後ケアの実態調査・研究事業:3,400千円

妊娠中または直近で出産された方等を対象とした実態調査を実施し、行政・母子保健関係者・有識者(産婦人科医、精神科医等も含む)等による調査分析を行い、当県の実情を踏まえた産前・産後ケアを検討する。

③ 子育てしやすい環境整備促進事業:5,870千円

県内企業の子育てしやすさを「企業子宝率」を用いて調査・分析し、その先進事例を用いた普及啓発を行う。

※「企業子宝率」

従業員(男女を問わず)の勤続年数、持っている子どもによって、当該企業在職中にもつと見込まれる子どもの数を表した指標

